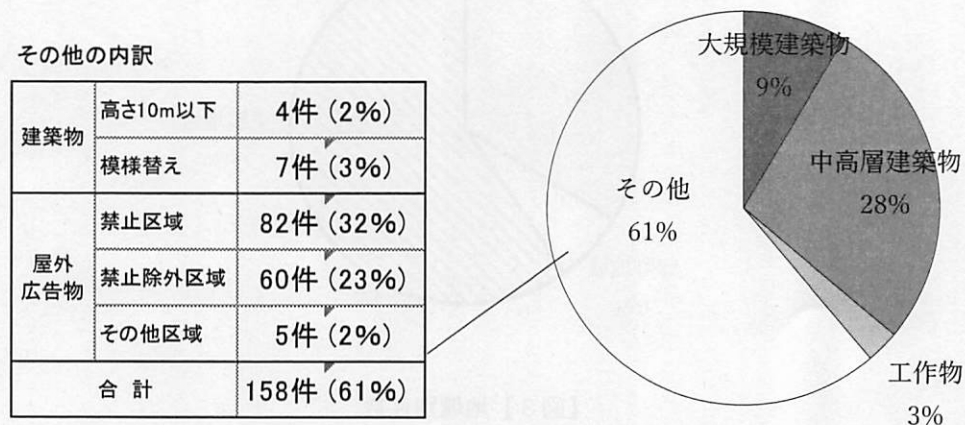


平成 29 年度 景観事前協議・届出状況

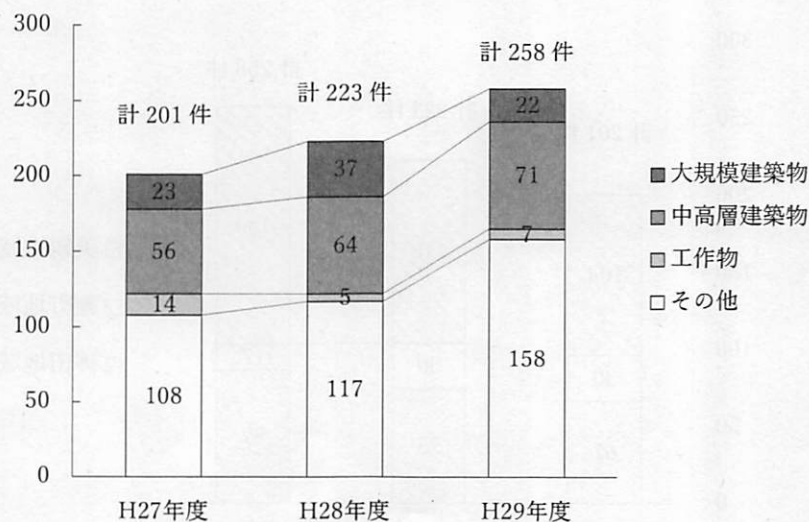
1 届出件数

(1) 種類別届出件数

- ・平成 29 年度の届出延件数は 258 件である。
- ・種別の内訳を見ると、「その他」が最も多く、約 61%を占める。【図 1】
「その他」は、大半を占める屋外広告物のほか、建築物の外観の模様替え・色彩の変更、高さ 10m 未満の建築物（地下鉄出入口の上屋等）の新築等が含まれる。
- ・平成 28 年度と比べると、中高層建築物とその他の届出が増加しており、届出総数も増加している。【図 2】



【図 1】種類別件数



【図 2】種類別件数の推移

※中高層建築物：高さが 10m を越える建築物（大規模建築物を除いたもの）

※大規模建築物：中高層建築物のうち、敷地面積が 500 m²以上又は延べ面積 3,000 m²以上の建築物

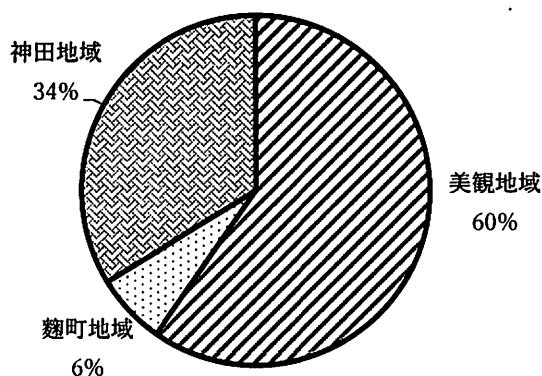
(2) 地域別届出件数

- ・地域別に見ると、美観地域が154件(60%)で最も多く、神田地域87件(34%)、麴町地域17件(6%)と続いている。【図3】

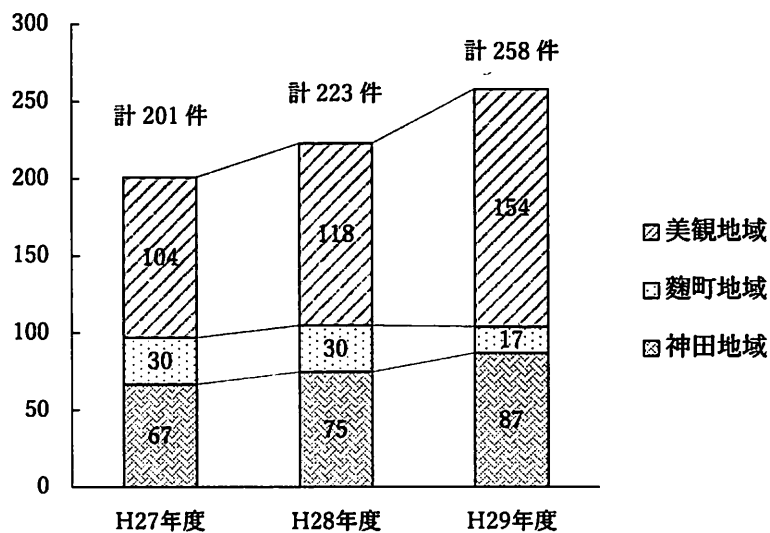
なお、美観地域の届出件数154件中142件が屋外広告物及び工作物である。

- ・美観地域では、平成22年度から景観アドバイザーを活用した屋外広告物の景観事前協議を行っていること、ビルの商業テナント等からの事前協議の申し出が増えたことから、届出件数が増加している。【図7】

- ・過去2カ年と比べると、神田・美観地域は増加傾向にある一方、麴町地域は減少となった。【図4】



【図3】地域別件数



【図4】地域別届出件数の推移

(3) 界限別届出件数

- ・ 界限別に見ると、界限2：大手町・丸の内が102件（39.5%）で最も多く、界限10：神田の51件（19.8%）、界限3：日比谷・有楽町の34件（13.2%）が続いている。【表1】【図5】
- ・ 界限1：皇居、2：大手町・丸の内、3：日比谷・有楽町、8：神保町・三崎町は、前年度より件数が増加している。【表1】

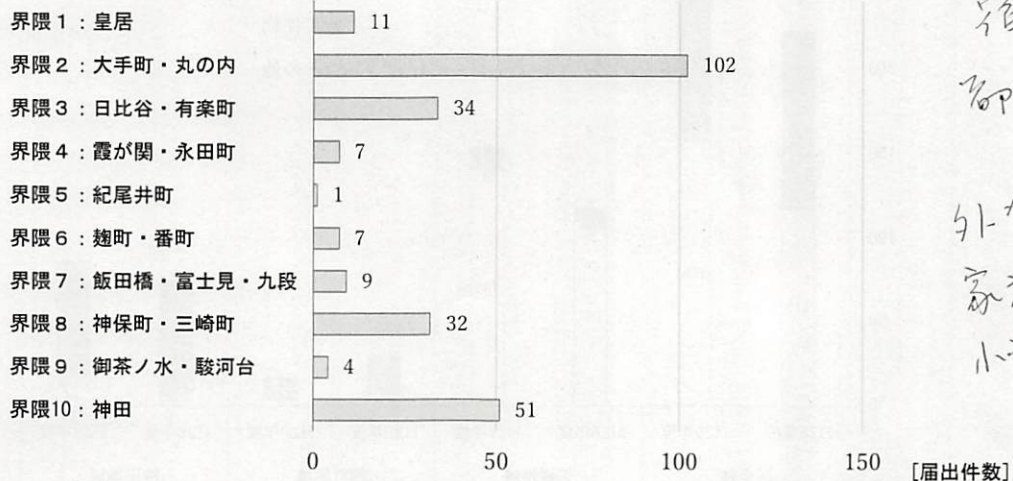
【表1】過去3カ年の界限別届出件数

界 限	H27年度		H28年度		H29年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
界限1:皇居	0	0.0%	4	1.8%	11	4.3%
界限2:大手町・丸の内	67	33.3%	86	38.6%	102	39.5%
界限3:日比谷・有楽町	32	15.9%	20	9.0%	34	13.2%
界限4:霞が関・永田町	5	2.5%	8	3.6%	7	2.7%
界限5:紀尾井町	1	0.5%	1	0.4%	1	0.4%
界限6:麴町・番町	9	4.5%	14	6.3%	7	2.7%
界限7:飯田橋・富士見・九段	20	10.0%	15	6.7%	9	3.5%
界限8:神保町・三崎町	12	6.0%	9	4.0%	32	12.4%
界限9:御茶ノ水・駿河台	7	3.5%	7	3.1%	4	1.6%
界限10:神田	48	23.9%	59	26.5%	51	19.8%
合 計	201	100%	223	100%	258	100%

事務所
ホテル

ワイルド
駐車場 エントランス
ホテル

低層部の
ビル



宿泊需要
都市計画的
課題
外資系
家族の計画
小学校

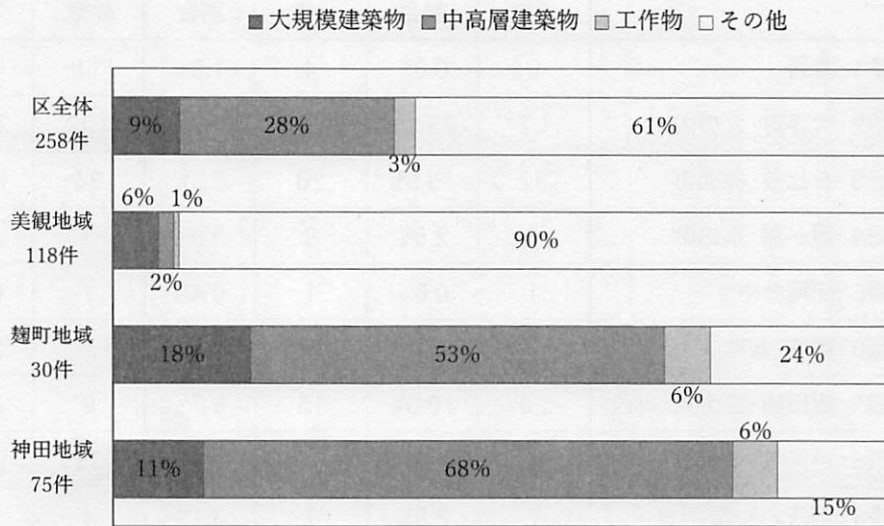
【図5】平成28年度 界限別件数

(4) 地域別・種別届出件数割合

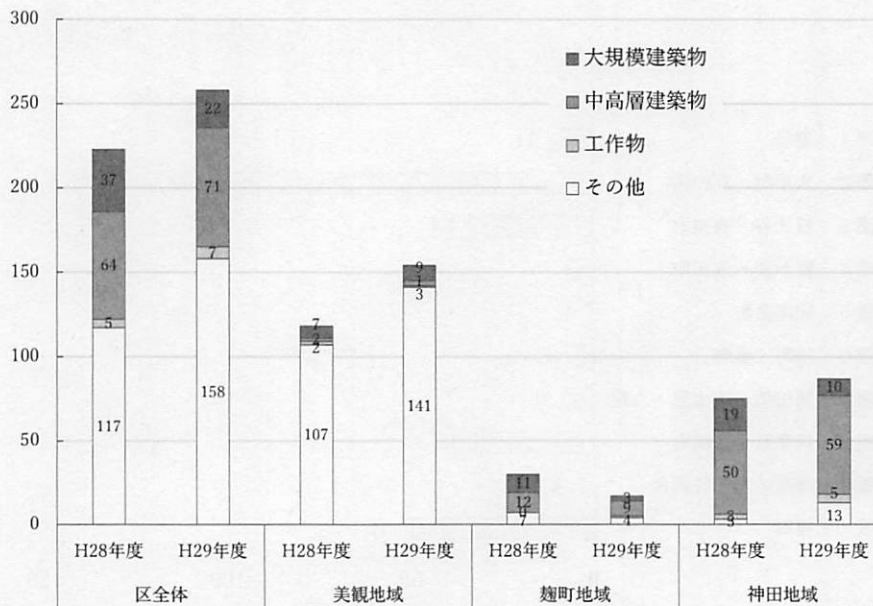
- ・麴町地域と神田地域は、中高層建築物が最も多く、それぞれ 53%、68%の割合を占めている。

【図 6】

- ・美観地域では、平成 22 年度から景観アドバイザーを活用した屋外広告物の景観事前協議を行っており、それに伴い届出件数が増加している。
- ・平成 28 年度と比べると、美観地域はその他（屋外広告物）が増加している。また、神田地域は建築物の件数が増加している。【図 7】

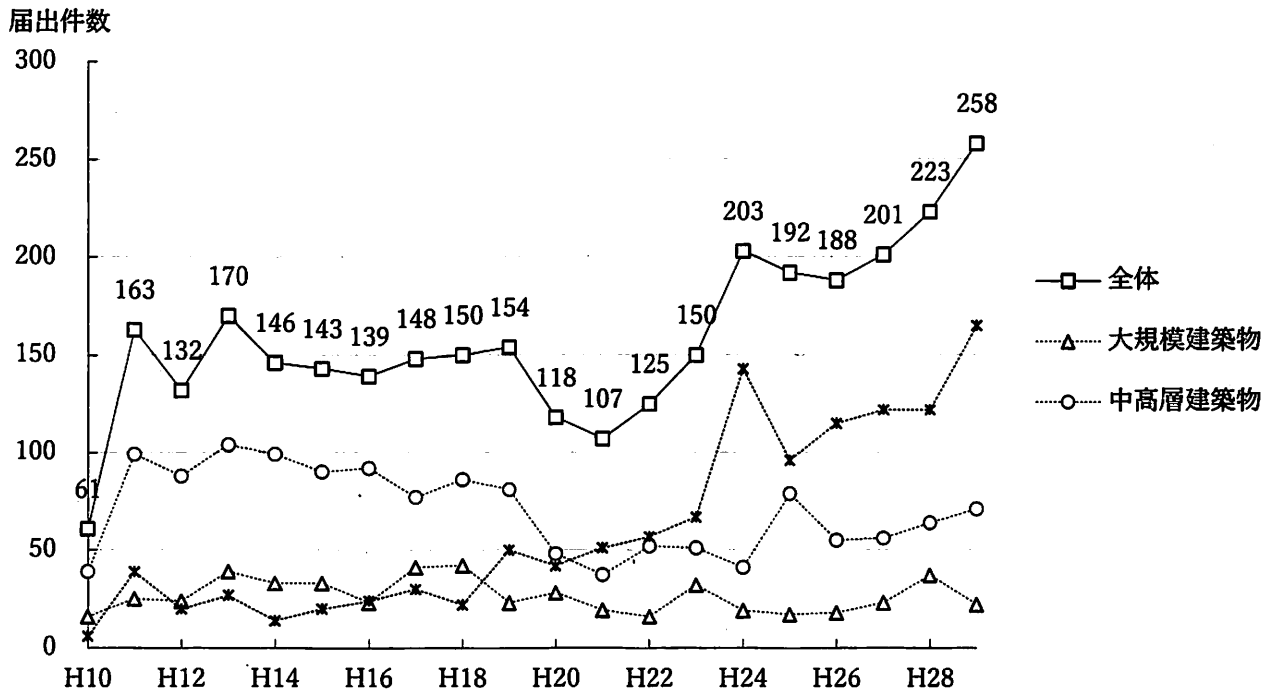


【図 6】 地域別・種別届出件数割合

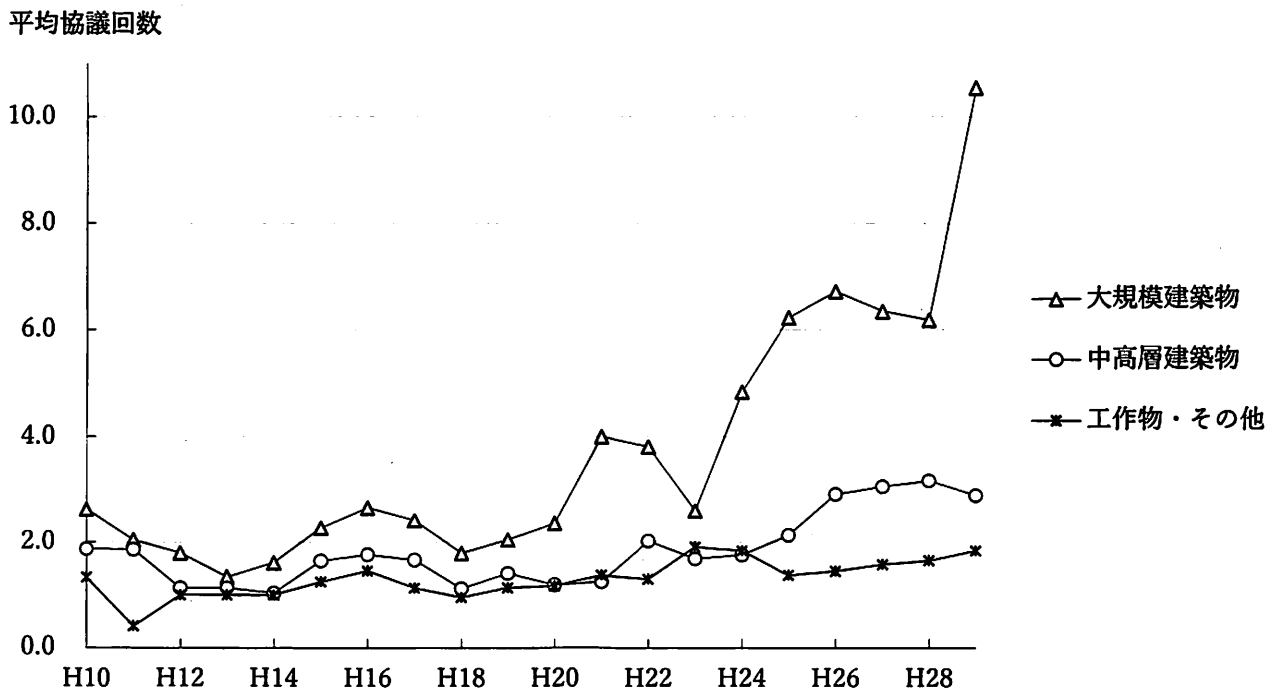


【図 7】 地域別・種別届出件数（平成 28 年度と平成 27 年度の比較）

<参考>届出件数・事前協議の平均協議回数の推移



【図8】届出件数の推移



【図9】平均協議回数の推移